



# ユーキャン通信

編集発行 知能工作研究所  
〒242-0006 大和市南林間 2-18-25  
Tel.046-277-5654 Fax046-277-5657

2018. 12

## 幼児教育現場からの感動の報告

### ※沖縄と千葉柏、感動の研究会報告

羽田から飛行約3時間、那覇空港に漂う雰囲気、どこかホッと安堵を覚えるのは私だけだろうか。帰省したような気持ち？今年になって5月以来2度目の9月 in 沖縄。

### ※9月20日「アリス幼稚園」訪問。

ホテルから、歩いて10分で行けると判断したのが大失敗の始まり。タクシーはいないし、ホテルから園までが遠かったこと。



結局途中で道を聞いた親切な方に、園まで送ってもらう事に。(反省-地元の人意見は最初から素直に聞くこと)

### 保育は“You can do it”の、年中「迷路遊び」

この教材は今年度から一部改訂され、転がす玉が木珠からビー玉に変わっている。迷路盤の木枠に当たると音が良くスピードも出る、という発想で改訂した教材。しかし実際にやってみると、スピードが出過ぎて、ビー玉が出口から飛び出し床に転がる大騒動。授業者(私)は想定外の展開にオロオロ。ところが、園児たちは、次の場面で使う予定のクッションのさいころを、迷路盤の木枠に挟んで遊び始めた。実に面白そうに、ビー玉がゴールに近づくと、素早くクッションを枠にはめ込んでストッパーにして遊んでいる。来年からクッションさいころは2個にしよう。(感動の①)

### ※9月21日「光の子幼児学園」訪問。



昨日の失敗に懲りて、園長先生にホテルまで迎えに来てもらう。集合は7:00。早いものには理由があった。その理由を車

の中で説明を受け納得、というより驚かされた。

入園前の約束として、園児は全員8時前に登園。

「なにをしているのか、先生に観て欲しかった。」と園長。

着いたのは沖縄市運営の、大きな多目的運動場。9:00開園を特別に1時間前に開けてもらって、人工芝の広いグラウンドの中で、体操やマラ



みんながんばれ!

ソンや徒競走で毎日1時間程遊んでいると言う。マラソンや駆けっこでは、先生たちの頑張れ!の応援の音が館内に響く。園長先生はコースを間違えヨチヨチ走る子に声を掛け、ゴールする子を順に抱きかかえ褒め称えている。それを見ている年中・長児は、当然だともいうような自然な態度。これが本物の幼児教育ではないだろうか。時流に乗った薄っぺらな愛や平等の言葉かけでなく、教師が心から誉め喜んでいる姿を見せることも、幼児教育に大切な事だろう。(感動の②)

### ※10月30日「なかよし みくにこども園」訪問。

この4月に、オープンしたばかりの千葉の園。園長先生とは、かれこれ25年以上のお付き合いになる。いつも陰になり日向になり知能工作を応援してくれている。しかし、毎回期待に応えられず失敗ばかりで…。

「こども園の良い所は、園児が園に長くいるから、いろんな事がやってやれる。幼児教育としてはやりがいがある。ただ、先生方がシフト制だから、幼稚園のように職員会議で一丸となって何かをやるという、意思の疎通がかなり難しい。そこが今後の課題。」と園長。(感動の③)



みの虫作り

31.1.25日は東京「松本幼稚園」。31.1.27日は北九州「精華幼稚園」で研修会が予定されています。園内研修希望の園は、お早めに連絡をください。 文責 知能工作 和田